

1 メールリストダイアログバー

Mbox Viewer は 3 つの内部メール リストを管理します。

- **すべてのメールリスト**は、メール ツリー下の選択されたアーカイブ ファイルから作成されます。
- **見つかったメール**のリストには検索結果が表示されます。ユーザーは「検索の詳細」ダイアログを実行するか、「検索」ダイアログで「すべて検索」オプションを設定できます。
- 「**ユーザーが選択したメール**」リストは、「**すべてのメール**」リストまたは「**見つかったメール**」リストのメールからユーザーによって作成されます。「**すべてのメール**」リストまたは「**見つかったメール**」リストのメールが「**ユーザーが選択したメール**」リストにも含まれている場合、最初の列に赤い縦線が表示されます。

各内部メールリストには、ツールバーの横にあるダイアログバーに関連ボタンがあります。特定のメールリストが選択され、メールサマリーウィンドウに表示されると、関連ボタンがハイライト表示されます。

「**ユーザー選択メール**」リストへのアクセスが有効になり、ユーザーはリストの簡単な監査を実行できます。ユーザーは「表示」→「ユーザー選択メール」を選択して有効化/無効化することで、このリストを無効化し、関連するボタンをグレー表示にすることができます。

ユーザーが選択したメールリストが有効になっている場合、選択したメールをユーザーが選択したメールにコピーするなどの追加のメール メニュー オプションが有効になります。

ユーザーが選択したメールリストの内容はユーザーが制御できます。ユーザーは検索を複数回実行し、結果を**ユーザーが選択したメールリスト**にマージできます。マージ前に検索結果をプルーニングすることも可能です。

、**[すべてのメール]**リストから 1 つ以上のメールを選択し、**[ユーザーが選択したメール]**リストにコピーするオプションもあります。

マージ/コピー プロセスでは、**ユーザーが選択したメールリスト**に重複したメールは作成されません。

ユーザーは 1 つ以上のメールを選択し、「**見つかったメール**」または「**ユーザーが選択したメール**」リストから削除できます。「**すべてのメール**」リストからメールを削除することはできません。

新しいメール アーカイブが選択されるまで、**すべてのメールリストの内容**は保持されます。

見つかったメールリストの内容は、新しい検索が実行されるか、新しいメール アーカイブが選択されるまで保持されます。

ユーザーが選択したメールリストの内容は、ユーザーがクリアするか、新しいメール アーカイブが選択されるまで保持されます。

[すべてのメール]および[見つかったメール]リスト内のメールには、最初の列に縦線が表示され、同じメールが [ユーザーが選択したメール]リスト内に存在することが示されることに注意してください。

2 「見つかったメール」と「ユーザーが選択したメール」リスト内のメールをアーカイブする

見つかったメールリストとユーザーが選択したメールリストの内容を mbox アーカイブ ファイルに保存できます。

見つかったメールリストから作成されるアーカイブファイル名は、メインのアーカイブファイル名のベース名に_FIND サフィックスが付加されます。ユーザーが選択したメールリストから作成されるアーカイブファイル名には、_USER サフィックスが付加されます。

たとえば、Gmail のルート mbox アーカイブ ファイルの名前が「All mail Including Spam and Trash.11.09.2018.mbox」の場合、作成されるアーカイブ ファイルの名前は「All mail Including Spam and Trash.11.09.2018_USER.mbox」または「All mail Including Spam and Trash.11.09.2018_FIND.mbox」になります。

見つかったメールまたはユーザーが選択したメールのリストにあるメールからアーカイブメール ファイルを作成するには:

1. 選択したリストをアクティブにするには、[見つかったメール]または[ユーザーが選択したメール]ボタンをクリックします。
2. 任意のメール上で右クリックし、「Mbox メール アーカイブ ファイルとして保存」オプションを選択して、選択したリスト内のメールを保存します。
3. ファイルの保存が完了すると、作成されたアーカイブ メール ファイルを開くか、アーカイブ ファイルがあるフォルダーを開くためのダイアログが表示されます。
4. 「ファイルを開く」を選択して、作成したアーカイブ ファイルを mbox ビューアーで開きます。
5. 「ファイルの場所を開く」を選択して、作成されたアーカイブファイルのあるフォルダを開きます。このファイルを、mbox ファイルのある既存のフォルダのいずれか、または新しいフォルダに手動で移動/コピーする必要があります。

3 「ユーザーが選択したメール」リストのメールからメールリストのインデックスファイルを作成する

、ユーザー選択メールリスト内のメールを .mboxlist インデックス ファイルに保存できます

(例: 「スパムとゴミ箱を含むすべてのメール.11.09.2018_USER.mbox.mboxlist」)。

.mboxlist ファイルには「すべてのメール」リスト内のメールのインデックスが含まれているため、メールアーカイブファイルよりもはるかに小さくなります。.mboxlist ファイルはいつでも「ユーザーが選択したメール」リストに再読み込みでき、必要に応じてアーカイブファイルを作成できます。

ユーザーが選択したメールリスト内のメールからメール インデックス ファイルを作成するには:

1. をアクティブにするには、「ユーザーが選択したメール」ボタンをクリックします。
2. ユーザーが選択したメールリスト内のすべてのメールからインデックス リスト ファイルが作成されます。
3. メールインデックスファイルは*_USER.mbox.mboxlist として作成されます。